



受 令和7年9月10日
付 午前・午後 : 受領

一 般 質 問 通 告 書

笠置町議会議長 西 昭 夫 様

次のとおり一般質問を行うことを通告します。

笠置町議会議員

山本 勝喜

質問事項	具 体 的 な 内 容	答 弁 者
新総合情報システム (SOBO-WE)について	令和6年4月より運用が開始された「新総合防災情報システム」は、災害時の被害状況や地理的空間情報として迅速に共有することを目的とした国の基幹システムです。このシステムは国や自治体、関係機関が災害時に必要な情報を地図上で共有出来るもので、避難所の開設状況や道路の通行止め、孤立地域の把握などに役立つとされています。このシステムを笠置町でも活用することで、特に高齢者や子供、障害をもった方など支援が必要な方々への避難誘導がよりの確に行えるのではないかと思います。災害時の情報共有は命を守る為の最も重要な基盤です。	
	そこでお伺いします。住民の皆さまが安心して避難できる体制づくりの為に、笠置町としてこの新しい防災情報システムへの参加状況はどうなっているのか、また今後どのように活用していくのか、以下の点について順に質問します。	
	①導入状況と職員研修	
	本町ではSOBO-WEの導入状況は現在どのようになっているのでしょうか。また災害時に職員が円滑に活用できるよう操作研修やマニュアル整備などの準備は進められているのでしょうか。	
	②住民への情報提供と周知	
	次にSOBO-WEで得られる災害情報を町民の皆さまに分かりやすく伝える体制について伺います。スマートフォンを使い慣れていない高齢者の方や、子供たちへの配慮を含めた情報提供の工夫は検討されているのでしょうか。又タブレットでの情報提供は考えていますか。	
	③町内会(各区)、消防団との連携訓練	
	町内会(各区)や消防団と連携し、SOBO-WEを活用した広域訓練を実施する予定はあるのか伺います。	
	④近隣自治体との情報共有	
	災害時には近隣自治体との連携も重要になります。SOBO-WEを活用した広域避難や物質輸送の調整など、近隣自治体との情報を共有する計画はあるのでしょうか。	
	⑤国、府支援制度の活用	
	SOBO-WEの導入、活用に関して国や京都府の支援制度や補助金の活用状況について伺います。今後、財政支援や技術支援を受ける為の申請、協議は行われているのでしょうか。	
発言時間	分	

※ 簡明に記入すること。

受	令和7年9月10日
付	午前・午後 : 受領

一 般 質 問 通 告 書

笠置町議会議員 西 昭 夫 様

次のとおり一般質問を行うことを通告します。

笠置町議会議員 山本 勝喜

質問事項	具 体 的 な 内 容	答 弁 者
防災の取り組み について	令和7年に入ってからカムチャツカ半島近海の地震、日本でもトカラ	
	列島近海や日向灘、福島県会津、長野県北部と地震が発生しています。	
	また政府の地震調査委員会は南海トラフ地震が今後30年以内の発生が80%	
	程度、過去の地震のデータなどから2030年代に発生する可能性が高いと	
	言われています。又、近年は風水害が頻発激甚化しており、土砂災害や	
	河川の氾濫への不安が拭いきれない状況であります	
	①もしこのような大災害が発生したら、どのような対応を考えているのか	
	聞かせてください。	
	②近年、災害時の避難所における環境整備の重要性が高まっています。	
	笠置町においては令和7年7月末で75才以上の後期高齢者の方が371人で	
	約47%おられます。また障害のある方が安心して避難できるようバリア	
	フリーや備品の充実が求められますが、現状の整備状況と今後の計画に	
	ついて伺います。	
	③大災害が発生し家屋倒壊が多数あり、避難する人の数が多ければ小学校	
	の体育館が避難所になると思われますが、夏の猛暑や冬の寒さに対応する	
	ため空調設備は必要だと思われますが町としての見解は。	
発言時間	分	

※、簡明に記入すること。

受 令 和 7 年 9 月 8 日
付 午前・午後 : 受領

一 般 質 問 通 告 書

笠置町議会議員 西 昭 夫 様

次のとおり一般質問を行うことを通告します。

笠置町議会議員 由 本 好 史

質 問 事 項	具 体 的 な 内 容	答 弁 者
循環バス運営事業について	循環バスの便数が減便され住民の方が大変困っておられます。どうして 11 時台の便を減便されたのか、11 時台を復活していただけないでしょうか。お考えをお聞かせください。	
物価高騰対応重点支援 地方創生臨時交付金事業について	①物価高騰等対策事業で令和 7 年 4 月 1 日現在、笠置町の住民基本台帳に登録がある方に、1 人当たり 8 千円の地域振興券を配布するとのことで、配布は最速で 6 月から 7 月頃に配布するとのことでしたが未だに配布されていません。どのようなになっているのか説明をお願いします。 ②物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業の非課税世帯以外の方々に対する支援について、1 月の臨時会において推奨支援枠を活用して支援を行うと答弁されておりましたが、どのような支援をされたのかお聞かせください。	
訪問介護について	①ヘルパーが高齢者宅を訪れて身の回りの世話をする訪問介護サービスを提供する事業所がゼロの自治体が、2024 年末時点で発表され京都府下では笠置町が名指しされております。介護需要が高まる中、過疎地域でのサービス提供の脆弱さが浮き彫りになったということです。利用者が必要なサービスを受けられない状況を避けるためにも、事業所の広域連携や経営の効率化を進めることが有効との指摘があり、行政による支援強化が求められております。そこで笠置町の状況をお聞かせください。 ②近隣自治体の事業所から派遣されたヘルパーでサービスを維持している地域もあるということですが、こうした地域は移動費や人件費がこれまでより多くかかるため利用者の負担増につながりかねないということです。笠置町の場合はどうなのかお聞かせください。	
「希望を生むまち」笠置町のまちづくり構想及び実行業務について	①「希望を生むまち」笠置町のまちづくり構想及び実行業務に関し、公募型プロポーザルが行われ、一社しか応募がなく、応募していただいたのが株式会社一という会社であったと、プロポーザルの実施結果が笠置町のホームページに掲載されておりましたが、町民の方の多くはご存じないと思いますので経過報告をお願い致します。 ②株式会社一さんから、笠置キャンプ場運営について、祭・イベントについて、笠置いこいの館についてや、移住・定住事業等について提案があったと思いますが、どういった提案だったのかお聞かせください。 ③提案された事項について進捗状況をお聞かせください。	
空き家対策について	①空き家につきましては、令和 2 年度現在で空き家の総軒数が 30 軒で、居住可能と判断できる空き家は 13 軒と報告されていましたが、今現在の数字について教えてください。 ②空き家は全国的に大きな問題となっていますが、令和 5 年に笠置町では、空家等対策計画を作成するということでしたが、計画は作成されましたか。作成されている場合、どのような取り組みをされているのか教えてください。	

受	令和 7 年 9 月 8 日
付	午前・午後 : 受領

一 般 質 問 通 告 書

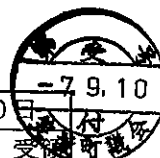
笠置町議会議長 西 昭 夫 様

次のとおり一般質問を行うことを通告します。

笠置町議会議員 由 本 好 史

質 問 事 項	具 体 的 な 内 容	答 弁 者
町営住宅の維持管理について	③空き家になりますと、周辺の住環境にも影響が出てきますし、小動物のすみかになってしまったりします。空き家を処分できない要因の一つとして、家財の処分問題があると思います。そこで家財処分を支援するため「空き家家財等処分事業補助金」を、また倒壊などの危険がある特定空き家等で解体除去の行政指導を受けている場合、「空家等除去費補助金」の創出が必要であると思います。当初予算では家財道具の撤去等の補助金を計上しているとのことですが内容についても説明をお願いします。 ④ふるさと納税で、空き家の管理といったことを返礼品にされている所がありますが、このことについてお考えをお聞かせください。 ①町営住宅の空き家が多数見受けられますが、各団地の空き家の戸数を教えてください。 ②令和 4 年度から 10 年間の計画で町営住宅等長寿命化計画が作成され、実施計画において、令和 5 年度以降、耐震診断、耐震化工事とバリアフリー工事を順次進める計画だと答弁されておりましたが、耐震診断、耐震化工事とバリアフリー工事の実績、それと耐震化工事が済んでいる町営住宅に空き家がないのか教えてください。 ③家が傷まないように定期的に換気や掃除をする必要があると思います。どのような管理をされているのか教えてください。	
発言時間 分		

※ 簡明に記入すること。



受付 令和7年9月10日
午前・午後 : 受付

一 般 質 問 通 告 書

笠置町議会議長 西 昭夫 様
次のとおり一般質問を行うことを通告します。

笠置町議会議員 向 出 健

質問事項	具 体 的 な 内 容	答 弁 者
1、まちづくり、 にぎわいづくり について	(質問1)事業メニューとして、現在どのようなものを想定されていますか。	
	(質問2)事業メニューを計画として作成し、住民への周知などを実施する考えはありますか。	
	(質問3)事業メニューの計画や具体化、実施はいつ頃どのようなスケジュールで進めますか。	
	(質問4)住民の参加や意見の反映はどのようにされますか。	
	(質問5)住民へはどのような利益還元を想定されていますか。	
	(質問6)キャンプ場の収益を、まちづくり、にぎわいづくりに使いますか。	
2、高齢者支援 について	(質問1)高齢者のゴミ出しの支援のニーズの把握と現在の制度対象外の方への対応はどうされますか。	
	(質問2)草刈について、人手不足の問題があると思いますが、どのように充実されますか。	
	(質問3)オンデマンドタクシーの導入と循環バスの両方は難しいとのことですが、循環バスを使用して通院をされる方もおられます。オンデマンドタクシーのみにする場合でも通院など配慮する利用目的の場合は、無料にするなどの対応があるのではないですか。	
	(質問4)シルバー人材センターの創設は考えておられますか。	
	(質問5)安否確認について、具体的な取り組みや施策の充実はどうされますか。	
3、町道の復旧 について	(質問1)佐田と西奥をつなぐ町道の復旧をしないのですか。	
発言時間	分	

※ 簡明に記入すること。



受付	令和7年9月10日
	午前・午後 : 受領

一 般 質 問 通 告 書

笠置町議会議員 西 昭夫 様
次のとおり一般質問を行うことを通告します。

笠置町議会議員 西 朋子

質問事項	具 体 的 な 内 容	答 弁 者
防災訓練について	災害はいつどこで起こるかわかりません。身近な場所で起きていないということもあって現実味が無いと思われがちですが、災害を自分事とする意識づけをする。防災の知識がないととっさの避難が遅れる事にもなる為、避難計画を実施するべきと考えます。直ぐにできそうな訓練を提案します。 1、「防災さんぽ」という言葉は聞かれた事がありますか。避難所まで歩いて行くというもので、自宅から避難所までの所要時間、道中の危険箇所などを事前に把握する事が狙いです。集まってもらい収容人数に対して避難所の整備が万全なのか、要配慮者の支援方法の確認、備蓄品の内容と数の確認、個別避難計画の見直しをするなど備蓄品を食べながらお茶を飲みながらワイワイやってもいいと思います。実施してもらえませんか。 2、 防災の体験学習をしてはどうかというものです。「地震体験車」で地震の揺れを体験したり、AEDや消火器の使い方などを教わったり、非常食の炊き出し試食会やVRを通じてリアリティーを感じてもらい体験など学びと遊びを通じて防災意識を高めてもらえるよう体験学習をしてはどうでしょうか。これからの町のイベントとして鍋フェスタがあれば準備期間も充分にあるので充実した内容の体験学習が出来ると思います。たくさんの住民の方の参加が望ましいので集客というところで町のイベントに絡めて体験するのはどうでしょうか。実施してもらえませんか。	
災害の備えについて	災害対応自動販売機が役場第2庁舎下に1台あります。普段は通常の自動販売機ですが、災害時に無料で飲料を提供する事ができ電光掲示板で災害情報を流したりできる物もあります。役場下だけでなく各集会所前や公共施設や避難場所になる事が考えられるので学校や総合グラウンドなどに設置できませんか。	
避難訓練計画の進捗状況について	6月に防災、減災事業についての訓練計画はあるのかという一般質問をしました。執行部や町長の答弁は知識と経験不足により見えない課題も多くあり大規模災害に見舞われた自治体からのノウハウを活用し課題を洗い出し訓練の計画を策定したい。と言われていますが、第4次笠置町総合計画に防災・安全についての項目があり笠置町での災害時の計画が書かれています。それを元に訓練をし、それからの見直しをする方が良いと思います。新聞記事にも頻繁に防災に関する事柄が載っていますし、能登半島地震の時に職員が派遣されていますので、そちらの自治体に聞くという考えはないのでしょうか。自治体を深すり取り組みはどこまで進んだのかお聞かせください。	
発言時間	分	

※ 簡明に記入すること。

受付	令和7年9月10日		
	午前・午後	:	受領

一 般 質 問 通 告 書

笠置町議会議員 西 昭夫 様

次のとおり一般質問を行うことを通告します。

笠置町議会議員

西 朋子

質問事項	具 体 的 な 内 容	答 弁 者
災害協定について	1、 災害協定にはいくつかの協定内容があります。物資、施設、情報、人的な支援が必要になります。大阪市はLINEヤフーと災害協定を結び災害時に正確な情報をタイムリーに伝える協定を締結されています。このように自治体だけでなく企業や団体と協定を結んでおく必要があります。笠置町が災害に見舞われた場合の災害協定はどことどの様な協定を結んでいますか。自治体の他、企業や団体もあれば協定内容も含めてお聞かせください。 2、 当町は高齢者が多く自力での避難が困難な方への支援が必要ですがそれをカバーするためにどの様な対策を講じるのですか。	
広域避難の進捗状況について	12月に別の議員が一般質問をしており、令和5年に相楽東部3町村で災害時等における相互支援に関する協定を締結しているが、広域的な協定を結んでいるところはない、カウンターパート方式による支援の手法などを参考に近隣ではない広域的な協定先を検討していきたいとの答弁がありました。町長からは広域避難が必要という場面も考えられる、様々な点で指導いただけるという形で依頼をしているところがあり、相手側からもおおむね了解いただいており、今後、具体的に進める。と言われました。進捗状況をお聞かせください。	
発言時間 分		

※ 簡明に記入すること。